

近隣住民のみなさんへ

第3回計画説明会に参加しましょう

日時 9月1日(日)午後1:30~

場所 柿生地区会館(麻生区役所連絡所)第1会議室

*説明会終了後、ひきつづき住民集会をおこないます。

「マンション建築計画の抜本の変更」を求めて

私たちは引きつづきとりくんでいきます。

「反対がない」どころか重大な問題点は山積みです

去る6月30日に、「デュークガーデン上麻生」マンション建築に関する第2回計画説明会が開かれました。その後、7月5日に荒川建設は、「ご近隣の皆様へ」という文書を配布し、その中で説明会の評価について「マンション建設についての反対はほとんどない無い事も判り、以後直近の皆様にお掛けしてしまう工事迷惑についての話し合いや補償につきましても信頼関係を基に話し合い解決できるものと思いました」と書かれています。

しかし説明会では、計画の本質については何一つ変えようとはしていません。別途資料「第2回説明会での住民の要望等と荒川建設の回答」を見ていただければ明かです。

とりわけメイフラワー柿生との隣地に擁壁をつくることは、今回明らかにされました。この擁壁でそもそも境界線と1.5mしか離れていないのがさらに狭まり、数十センチになります。さらに擁壁の高さはメイフラワー柿生の3階くらいの高さまでくるため、東側の窓が日陰になります(裏面写真参照)。建設にともなう影響、被害の全体像は明らかになっておいません。「反対はほとんどない」どころか、重大問題が山積みというのが、今回の説明会から見えてきたことです

改正条例に適合する計画変更を求め続けます

荒川建設は、こうした本質問題での追及が焦点になることを避けるため、下のネットをはずすなどをあたかも譲歩のように演出し、見せかけの対話路線で「工事迷惑についての話し合いやその補償」に引き込もうとしています。

3月に開発許可がおりたため、一部に「もう反対しても無駄なのでは」という声もあります。しかし、建物本体の建築確認と工事業者(ゼネコン)は未だに決まっていません。しかも美山台を含めてあれだけノボリ、横断幕が出ていたら、ゼネコンも躊躇するでしょう。私たちの「デュークガーデン上麻生建築計画の抜本の変更を求める請願」は2月6日の川崎市まちづくり委員会で「趣旨採択」されました。その後4月6日緊急住民集会で、参加者全員一致で「NO! 環境破壊 大地下室マンション」のノボリをたてることを決め、守る会として明確な意思表示をして今日にいたっています。今後もこの立場に変わりはありません。7月1日から地下室マンションの規制強化の改正条例が施行されました。改正条例ではこのマンション計画は適合しません。これからも説明会で本質問題を追及し、具体的に計画変更を迫っていきましょう。9月1日の計画説明会にぜひ参加して下さい。

2013年8月21日 王禅寺・上麻生の住環境を守る会